

(令和8年度)
2026年度

職員採用

社会福祉法人
調布市社会福祉事業団

ここで暮らしている
あなたも、わたしも

CONTENTS



目次

経営理念・・・・・・・・・・・・・2

特性と役割・・・・・・・・・・・・・3

理事長挨拶・・・・・・・・・・・・・4

沿革・・・・・・・・・・・・・5

事業所紹介(児童福祉)・・・・・・・・・・6

事業所紹介(障害福祉)・・・・・・・・・・8

法人の特徴的取組・・・・・・・・・・・・・11

地域における公益的取組プロジェクト・12

両立支援プロジェクト・・・・・・・・・・・・・14

ワークライフバランス・・・・・・・・・・・・・15

職員構成・・・・・・・・・・・・・16

職員の男女別構成・・・・・・・・・・・・・17

正規職員の資格取得・・・・・・・・・・・・・18

キャリアパス・研修制度・・・・・・・・・・・・・19

他団体への派遣・兼業先等・・・・・・・・・・・・・20

安心の待遇・・・・・・・・・・・・・21

その他の待遇・充実した福利厚生・・・・・・・・・・22

福利厚生を利用して職員の交流も活発・23

離職率・・・・・・・・・・・・・24

職員が思う事業団の魅力・・・・・・・・・・・・・25

ご利用者のアート作品・・・・・・・・・・・・・26

先輩職員メッセージ・・・・・・・・・・・・・27

Q & A・・・・・・・・・・・・・31

法人概要・・・・・・・・・・・・・32

OUR PHILOSOPHY



経営理念

私たちは、すべての利用者が人として人らしく
尊ばれ、自らの意思に基づいた生活を地域社会
で営むことができるよう支援します。



OUR FEATURES



特性と役割



- 1 地域に根ざし、市民と協働する調布の福祉のフロンティア
- 2 ライフステージに応じた一貫したサービス
- 3 幅広い施設運営・事業展開の総合力
- 4 公の信頼性と民の柔軟性
- 5 調布市の100%出資により設立された法人



理事長挨拶

意欲あふれる皆さんをお待ちしています。

調布市の100%出資により設立された法人です。障害福祉と子育て支援を事業の両輪として、先駆的な取り組みを調布市からの委託を受け実施しています。

障害福祉事業においては、入所施設をはじめ通所施設、地域での生活を支えるグループホームや地域での生活や就労支援を行っている事業所を持ち、就学前の子どもの療育にも取り組んでいます。こういった事業を推進しているのは障害をお持ちの方々のライフステージ全般に関わり、寄り添って支援していくという大きな方針を持っているからです。

子育て支援事業では、調布市子ども家庭支援センターすこやかを中心に、子育てをしやすい環境を整えるための多様なサービスを展開しています。また、児童相談所や市の児童虐待防止センターとも連携し虐待防止の一翼も担っています。

2023年4月からは国領児童館事業を、2024年4月からは調布ヶ丘児童館学童クラブを順次受託しました。学童クラブとあそびバ事業との連携をはかりながら放課後における子ども達の集う場を提供するとともに、安全に安心して過ごすことができるよう児童の健全な育成を支援していきます。

また、障害児学童クラブとしてインクルーシブな取組を開始してから4年目を迎えるゆずのき学童クラブも先駆的な取組のひとつであります。

一方、国領7丁目障害者施設の運営を受託し、デイセンターまなびや国領とワークライフカレッジすとっくの事業を開始するなど活動の場を広げています。

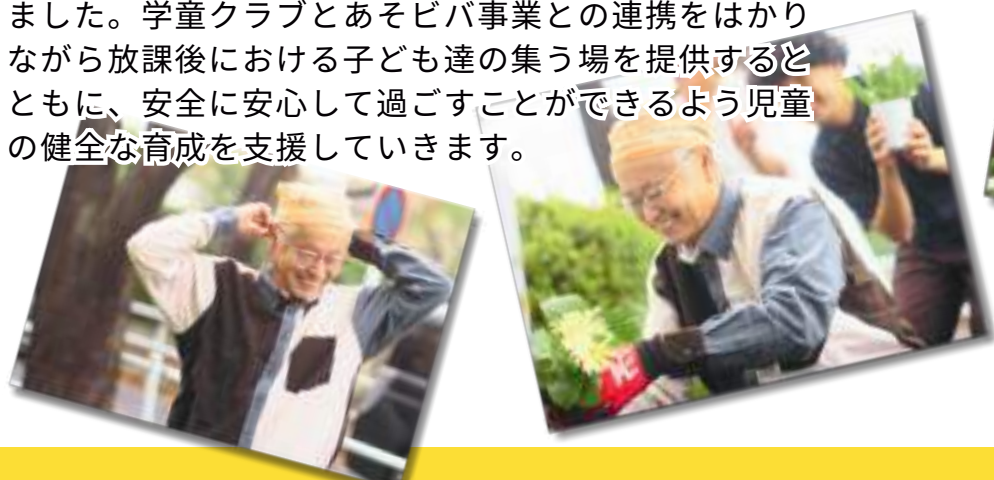
どの仕事も決して楽な仕事ではありませんが、子どもたちや利用者の皆さんの笑顔を見ると、多くの人々の日常を支えているというやりがいを感じます。当法人は「人材」を何よりも大切な「人財」として捉え、職員一人ひとりの自己成長・自己実現を支援しこれからも福祉の拡充に取り組んでまいります。意欲あふれる皆さんをお待ちしています。

伊藤栄敏

いとう ひでとし | 理事長

趣味は、読書、野球。調布市早朝野球連盟チームに加盟し、今はベンチからの応援ですが、調布基地跡地グラウンドでの試合を楽しんでいます。

野菜作りとガーデニングも趣味で自宅の横の小さな畑で、夏はトマト、ナス、ピーマン、枝豆、秋はブロッコリー、キャベツなどを栽培しています。ガーデニングはマリーゴールドなどを種まきから行っていますが、とても難しく今後も勉強しながら育てており、自分が育てた花が事業団の施設を飾れればと思っています。



OUR HISTORY沿革



富士見児童館 受託予定 (仮称)こもれび(生活介護(通所)・ショートステイ) 経営予定

調布ヶ丘児童館・(仮称)やぐもだい学童クラブ・富士見児童館学童クラブ受託予定

調布ヶ丘児童館学童クラブ・ワークライフカレッジすとおく・デイセンターまなびや国領 受託

国領児童館 受託

国領児童館学童クラブ・あおぞら学童クラブ 受託 グループホーム小島町ふれんず 経営

体験型グループホームちゃれんじ 経営

ゆずのき学童クラブ 受託 グループホーム調布ヶ丘じゃんぷ 経営

かみふだ第二学童クラブ 受託 グループホーム布田北じゃんぷ 経営

かみふだ第一学童クラブ 受託

グループホーム深大寺みつばち 経営

かしわの学童クラブ 受託

学童クラブ(4ヶ所)・あそびバ(5ヶ所) 受託

グループホームみつばち 経営

グループホーム富士見町じゃんぷ・下石原じゃんぷ 経営

発達センター通園事業あゆみ 受託

グループホームじょい 受託

グループホームじゃんぷ 経営

体験型グループホームすてっぷ 受託

子ども家庭支援センターすこやか 受託 障害者地域生活・就労支援センターちょうふだそう 受託

介護施設なごみ・そよかぜ・すまいる 受託 デイセンターまなびや 受託 グループホームふれんず 経営

事業団 設立

(※受託：調布市からの受託事業

※経営：法人の自主事業)

児童福祉



子ども家庭支援センター

妊娠期から18歳までの子育てを総合的に支援する施設です。親子でくつろげる広場や子育て相談、お子さんの一時預かりやファミリーサポート事業などを一か所で行っています。



児童館

行事や日常的な遊びを通して健全な育成を行い居場所の提供を行っています。赤ちゃんひろば、幼児ひろばを通して、地域の乳幼児とその保護者に交流の場を提供しています。



子ども発達センター 通園事業

発達に遅れやかたよりのある、またはその心配のある子どもと家族を対象に、一人ひとりの子どもの必要に応じた療育を行うとともに子育て家庭を支援します。



学童クラブ 放課後子供教室事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生が過ごすことのできる学童クラブを11施設、放課後気軽に遊びに行ける放課後子供教室事業“あそびバ”を5施設運営しています。ひとつは全国的にも珍しいインクルーシブ学童クラブです。

インクルーシブ学童保育 ゆずのき学童クラブ

- ✓ 40人枠のうち15人が障害児枠
- ✓ 送迎バスがあり障害児は市内の居住地域に関わらず利用可能
- ✓ 医療的ケア児が利用できるよう看護師を配置
- ✓ 障害の垣根を超えて児童が一緒に活動
- ✓ 共生社会構築の基盤づくり

✓ インクルーシブな 放課後の居場所づくり

心身ともに落ち着くためのカームダウンルームの用意や絵カードの活用など、色々な特性のある子どもたちが楽しく、安心して過ごせるよう工夫。

単に同じ空間にいただけで終わらないように、子どもたちが障害の垣根を超えて一緒に活動できる環境を整備。



障害福祉



入所施設

障害をお持ちの方60名が24時間生活する入所施設です。利用者一人ひとりが生きがいを持って暮らせるよう、個々のニーズに沿いながら環境の変化に対応した利用者支援の充実に努めています。音楽やアート活動なども積極的に行っています。



通所施設

生活介護・就労継続B型
就労移行・生活訓練

18才以上の知的障害・重度重複障害のある方が自宅やグループホーム等から通う施設が5施設あります。施設により活動は様々ですが、パン工房や陶芸・織物のほか、音楽・リハビリ等に取り組んでいます。外出する機会を積極的につくり、主体的に生きがいをもって、本人の望むところで生活できる環境づくりをめざします。



地域生活・就労支援センター

障害のある方が地域の中で生活を送るために、就労面と生活面の一体的支援を行なっています。生活面では移動支援や地域活動支援、相談支援等を通して障害のある方をサポートします。



グループホーム

知的障害のある方、重度重複障害のある方が家庭から自立し、市民として安全で快適な地域生活が送れるよう支援しています。都内でも数少ない体験型のグループホームもあります。(全12か所)

体験型グループホーム すてっぷ・ちゃれんじ

- ✓ 都内でも数少ない
取り組み
- ✓ 期間を定めて家庭から
の自立を体験
- ✓ 自立という大きな一歩
をスモールステップで
経験を積むことで支援
- ✓ ご本人にとってもご家
族にとっても自立への
イメージを掴む機会

✓ 自立への不安を 少しずつ一緒に解消

ずっと家庭で暮らしてきた中で、社会に出て生活することはご本人にとってもご家族にとっても不安に思うもの。

すぐにグループホームへ入居するのではなく、期間を決めて体験しながら、自立へのイメージを互いに膨らませていくことで気持ちの準備を。

同じような境遇の仲間と一緒に経験を重ねながら成長していくことを支援します。



ワークライフカレッジ すとおく

(就労移行支援・生活訓練)

✓ 本人主体の個別支援 将来計画を目指す

- ・生活訓練
- ・就労移行支援
- ・就労定着支援

3つの支援でサポート

✓ 学校卒業・社会人・ 在宅生活が長い方 様々なニーズに対応

特徴ある事業の紹介

✓ S す T て き な O 大人になるための K 計画

知識や経験を「STOCK」＝たくわえて素敵な大人になるというコンセプトの施設。これが「すとおく」の由来です。

お仕事には挑戦したけれど自分には合わず、次の進路に迷っている方、現在在宅生活が長く就労できるかを見極めたい方、居場所や通える場所がほしい方など、知的障害や発達障害のある人、一人ひとりが活躍できる場所を一緒に探していくことを目的とした新たな取り組みです。経験とまなびなおしを得たご本人自身が選ぶ進路を応援。企業就労だけをゴールとはせず、ご本人らしく生きていくための支援を提供します。

すとおく職員 | 福祉職

ちょうふだぞうで臨時職員として長期にわたって就労支援に尽力。その経験を活かし、2024年4月から正規職員として現職へ。



法人の特徴的取組

**職員の健康を
積極的にサポート**



衛生委員会を中心に腰痛予防、睡眠改善、栄養等に関する研修の実施。治療をしながらも仕事を続けられるよう特別休暇（治療休暇）も制定。健康的に仕事が続けられるようにサポート。

**地域への
公益的な取組み
も活発**



地域の困りごとに積極的に取り組んでいます。リクルート・冠婚葬祭のスーツ貸し出しやフードバンク、震災等の被災地派遣も継続的に行っています。

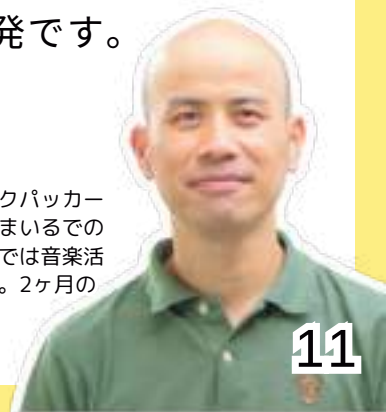
**職員の仕事と
プライベートの
両立をサポート**



両立支援プロジェクトが中心となり、仕事とプライベートの両立をサポート！働きやすくなる環境づくり雰囲気づくりが活発です。

本部事務局 主任 | 事務職

転職で事業団へ。就職前にはバックパッカーで世界中を旅していた経験も。すまいるでの経験を得て現職へ。プライベートでは音楽活動も積極的に行っている1児の父。2ヶ月の育児休業の取得経験有。



職員の声から広がる地域への取り組み

地域における公益的 取組プロジェクト

事業団の強みである地域福祉サービスに関する専門性やノウハウ、
地域の関係機関との連携・ネットワーク，民間ならではの多角的な
アイデアと柔軟性を活かして、地域にむけた取り組みを行っています。



なんでも
相談窓口



フードドライブ
地域の子ども食堂
などに提供



スーツの貸出
冠婚葬祭や採用試
験の際に貸出



絵本ドライブ
地域の子どもへ
絵本提供



すまいる職員 | 福祉職

なごみで臨時職員として勤務後、正規職員へ。
まなびや、国領小学童クラブ、あゆみでの
経験を経て現職へ。障害・児童両分野の施設
を経験。特技はボーリング。



パンやお菓子の
提供



パン作り
教室



災害被災地への 人的支援

なかでも、災害被災地への職員派遣は積極的に行っています。

能登半島地震においては、2024年1月～8月現在までの間に13人の職員を延べ104日間派遣しています。

また、被災地支援を行った職員3人による報告会を事業団全施設職員向けに行い、「どのような支援が必要なのか」、「自分たちの場所で起きたらどうするのか」、「被災した方々に寄り添うこととは」について考えあいました。



被災地支援を行った職員による報告会



あゆみ職員 | 福祉職

茨城出身。第二小学童クラブで臨時職員として勤務後、正規職員として入職。国領小学童、かしの学童クラブでの経験も経て現職へ。特技はダンス。被災地支援は1.5次避難所で活動しました。



なごみ主任 | 福祉職

本部事務局、ちょうふだぞうの経験を経て現職へ。趣味はトレッキング・山登り。被災地支援では入所施設で活動しました。



なごみ副施設長 | 看護職

利用者の健康だけでなく職員の健康のサポートも行う看護師。仕事では、休憩時間に食べるすまいるパンを楽しみに…プライベートでは、孫との時間が癒しのひととき。被災地支援仮設住宅の訪問を行いました。



職員の声から立ち上がったプロジェクト

両立支援 プロジェクト

職員がプライベートと仕事の両立がしやすいよう様々な座談会の開催や介護ハンドブックの作成、研修・相談窓口の案内、広報誌の作成、アンケートを通して職員のニーズ調査等を行っています。



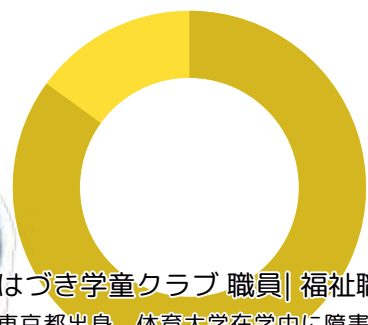
ワークライフバランス

結婚や子育て、家族の介護などがしやすい職場環境です

職員みんなで支え合い一人ひとりのワークライフバランスを大切にしています

年次有給休暇取得率

85.0%



はづき学童クラブ 職員 | 福祉職

東京都出身。体育大学在学中に障害児の療育に興味を持ち、あゆみで臨時職員として勤務。正規職員へ転換後、すこやか在职中に保育士資格を取得。そのスキルを保育現場で活かすため一度転職。転職先では、家庭との両立が難しく、サポートが充実している事業団ヘジョブリターン制度で戻り、現職へ。

産休・育休取得率

女性

100%

男性

50%

産休・育休後の復職率

男女ともに

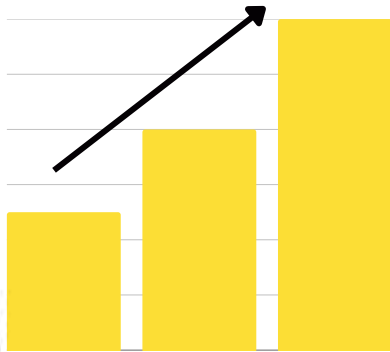
100%

(2022年4月1日時点)

職員構成

職員数

591人



職員内訳

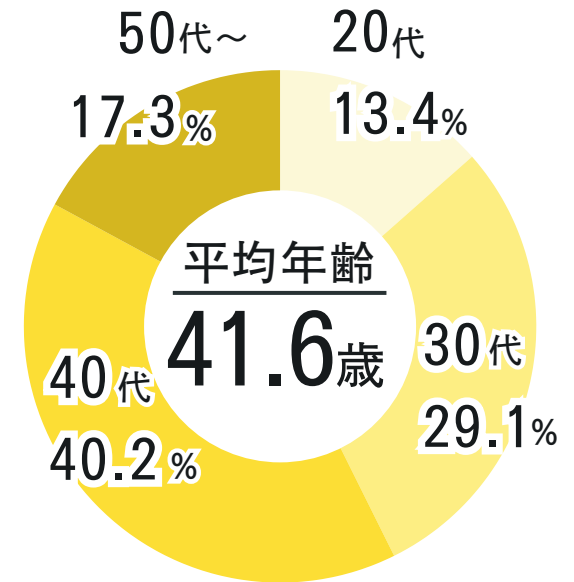
正規職員
再雇用職員

208人

臨時職員
無期雇用契約職員

383人

正規職員の年齢構成



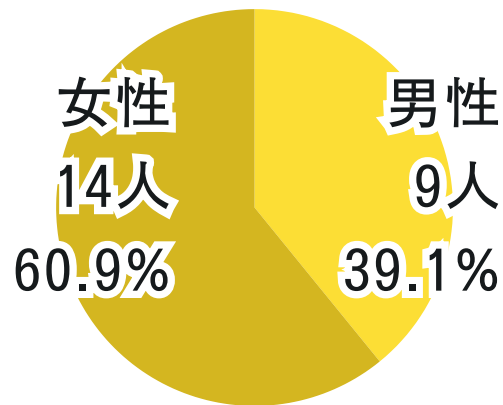
(2024年4月1日時点)

まなびや国領主幹 | 福祉職
東京都出身。すこやかに臨時職員として入職し、その後正規職員へ。
趣味は楽器演奏。

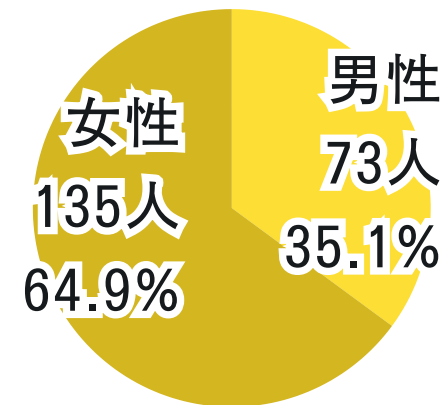
色々な角度から利用者支援を考え支援の幅を広げるためには、
様々な年代の職員の存在が不可欠だと考えています。

職員の男女別構成

管理職



正規職員



(2024年4月1日時点)

福祉サービスのさらなる向上のためには女性職員を含めた多様な視点が重要と考えています。

【世の中の女性管理職の状況】

国：6.9%
東京都：20.2%
調布市：18.2% (2022年4月1日時点)



すこやか職員 | 福祉職

東京都出身。趣味はバドミントンとディズニー。新卒で入職し、現職へ。入職当初はあがり症で、人前に出るときはいつも手が震えていた。今では、特技のピアノで、すこやかのイベント等で弾き語りも度々披露する子どもたちからの人気者。

正規職員の資格取得

それぞれのメンバーが専門的な知識とスキルを活かし、法人の成長を牽引しています。

保育士

48 人

社会福祉士

59 人

教員免許

29 人

介護福祉士

40 人

栄養士

2 人

精神保健福祉士

15 人

保健師
看護師
助産師

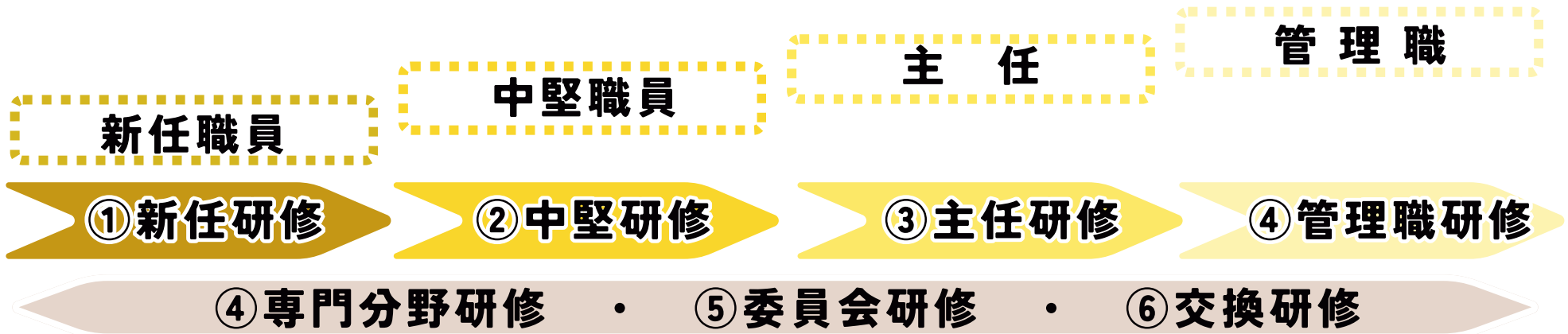
16 人

公認心理師

4 人

衛生管理者、防火・防災管理者、福祉住環境コーディネーター、調理師などの有資格者も。
未経験で入職し、その後に資格取得をする職員も多数！資格補助制度もあります。（P22）

キャリアパス・研修制度



新任研修 ～事業団職員としての意識づけ・基本事項の習得～
実施例...新人研修、ビジネスマナー、OJT等

中堅研修 ～職場におけるリーダーシップとチームワーク～
実施例...リーダーシップ、コミュニケーション能力等

主任研修 ～職場をまとめ、事業団全体への運営に参画する～
実施例...部下指導育成、業務改善等

専門分野研修 ～専門性の向上と主体的なキャリア構築～
実施例...てんかん講座、自閉症講座、エピペン投与シミュレーション等

委員会研修 ～事業団内の各委員会主催の多様な研修内容～
実施例...コンプライアンス、メンタルヘルス、リスクマネジメント等

交換研修 ～各施設間と交流を持ち、相互の情報交換～
実施例...事業団内施設、調布市内福祉施設、都内福祉施設等

未経験・他業種からの転職の職員も多く、どんな職員にも安心と充実の研修制度

他団体への派遣・兼業先等

多くの職員が自らのスキルや専門性を活かして法人外でも活躍しています

内閣官房 障害者雇用コンサルテーション アドバイザー

東京都サービス管理責任者等研修検討委員

東京都相談支援従事者現任研修ファシリテーター

東京都行動援護従事者研修 講師

調布市地域福祉推進会議委員

調布市教育委員会いじめ問題対策地域協議会 副会長

全国障害者スポーツ大会 東京代表コーチ

その他多数，多方面で活躍中です

そよかぜ副施設長 | 福祉職

東京都出身。元インストラクターの経験を活かして生活介護の分野で活躍。プライベートでは陸上競技を現役で行い、国体やパラスポーツのサポートも兼業。第一子出産に合わせて1年間の育児休業を取得。



安心の待遇

237,800円～247,800円

(大卒新規採用者の場合)

※上記金額は、本俸＋特殊業務手当の合計額。

※職歴加算あり

福祉施設等における正規職員としての経験年数×下記定期昇給額
その他の正規職員としての経験年数×下記定期昇給額×50%

- ・住居手当：賃貸住宅居住の世帯主を対象。34歳まで15,000円
- ・扶養手当：子(～15歳)9,000円/子(16～22歳)13,000円
その他扶養親族等6,000円
- ・資格手当：社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認心理師
6,200円
- ・通勤手当：交通機関使用の場合実費相当額
(その他自転車等交通用具使用時等)
- ・定期昇給：58歳まで年次定期昇給あり
～30歳代平均6～9千円程度 40歳代～平均6千円程度

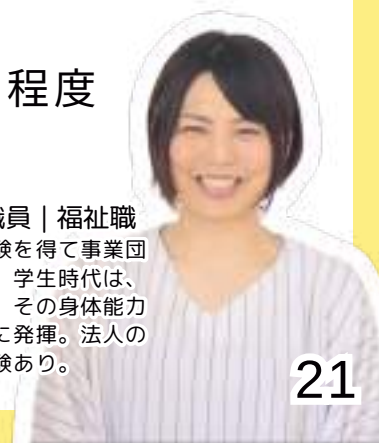
週40時間勤務。年間休日120日程度。

月の休日数(土日祝の日数が休数)

施設によってはシフト制による

交代勤務のところもあり。

第二小学童クラブ・あそびバ職員 | 福祉職
小学校教員、市立の学童職員での経験を得て事業団へ入職。すこやかに配属後に現職へ。学生時代は、バレーボール・ラクロスに汗を流し、その身体能力を学童の子どもたちの育成にも存分に発揮。法人の駅伝サークルで調布駅伝にも出場経験あり。



その他の待遇・充実した福利厚生



年休積立保存制度 様々な特別休暇

夏季冬季休暇、リフレッシュ休暇
介護休暇、子の看護休暇
ボランティア休暇、治療休暇、
資格試験休暇、健診休暇



賞与年2回

4.85ヶ月分
(2024年度実績)



資格取得応援

社会福祉士・介護福祉士・
精神保健福祉士・保育士・
公認心理師資格取得のための
通信教育や講習会の費用補助



福利厚生センター ソウェルクラブに加入

各種サービスや割引、
助成金やお祝金等の
申請も利用可能

山本 雅章

やまもと まさあき | 業務執行理事
元調布市福祉健康部長。武蔵野大
学、静岡福祉大学、東京慈恵会医科
大学等で講師や特任教授として活
動。

伊藤 栄敏

いとう ひでとし | 理事長
調布市役所に入所。産業振興や
街づくり、税務部門等の他、福
祉部門では子ども家庭支援セン
ターすこやかへの立ち上げに携わ
る。行政改革、基本計画策定等
の企画部門を担当。その後、調
布市副市長を務め、2024年6月
に当事業団理事長に就任。

すこやか副施設長 | 福祉職

東京都出身。趣味は手芸。学生時代
に非常勤職員として入職しそよかぜ
配属を経て現職。休職制度を利用し
JICA海外協力隊に参加。2年間ネパ
ールでソーシャルワーカーとして赴
任。

すこやか職員 | 福祉職

東京都出身。趣味はサウナとキャンプ。
学生時代にそよかぜで実習し、その後入
職。すこやかのYouTubeチャンネルを
作っています！

ちょうふだぞう職員 | 福祉職

兵庫県出身。生活支援の相談員を
しています。趣味はドライブ、
映画鑑賞と旅行。



職員互助会制度

慶弔給付金や健診、
会員同士の親睦の
補助等



職員のサークル活動

ソウエルクラブから1000円
互助会から2000円の活動費を支給



法人の全体交流会

2年に1回法人全体の交流会を実施
ボーリング大会やビンゴ大会、
ゆるスポーツ大会等、費用は全額無料！



福利厚生を利用して職員の交流も活発



施設ごとの交流会

毎年1人あたり1万円の補助を支給



職員同士の親睦

毎年1人3000円の補助を支給



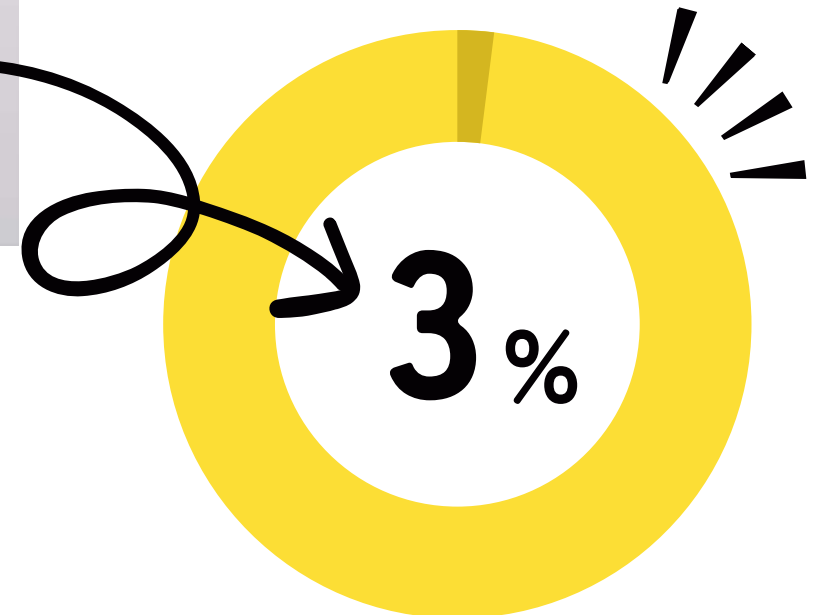
離職率

世間では・・・



事業団は・・・

正規職員年間離職率



(2023年4月1日時点)

まなびや施設長 | 福祉職

東京都出身。法人開設時入職し児童・障害者施設4施設を経験し現職。
趣味はヨガ。片道30分かけて元気に自転車通勤しています！

職員が思う 事業団の魅力

事業団の強み見える化アンケートを実施

(調査：2022年)



1位 人材・人間関係

“職員同士の優しさと支え合いがある”
“現場の声をよく聞いてくれる”
“相談しやすい” “協力的で働きやすい”

2位 待遇・給料

“コロナでも仕事があり、ボーナスも出た”
“毎年昇給する” “給料の見通しが立つ”

3位 有休・子育て・両立・生活

“休みがとりやすい”
“休暇制度が整っている”

4位 労働環境 業務

“法人内や関係機関と互いに連携しやすい”
“研修制度や相談窓口があり働きやすい環境”

5位 福利厚生

“市の監理団体で待遇や福利厚生に恵まれている”
“健診・予防接種が受けられる”

6位 研修・スキルアップ

“各種研修制度が充実している”
“スキルアップへのフォローが良い”

7位 オリジナリティ

“地域密着で地元根差している”
“色々な施設があり、幅広い経験ができる”

利用者のアート作品

障害分野では利用者の個性や感性を大事に、アートの専門講師にも協力いただき制作活動に力をいれています。これまでも数々のアート展に出展し受賞もしています。



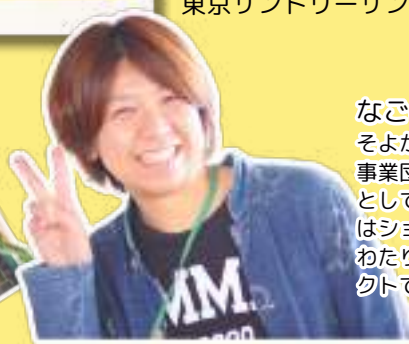
「レッド」
三輪康介
2021パラアートTOKYO
入選作品



「すまいるハート」
すまいる一同
調布市パラアート展2024
東京サントリーサンゴリアス賞



「小湊鐵道」
本田亮裕
2024アートパラ深川
観光庁長官賞



なごみ主任 | 福祉職
そよかぜで臨時職員として勤務後、事業団へ入職。そよかぜで正規職員としても勤務後、現職へ。なごみではショートステイでの経験も長きにわたり培っている。両立支援プロジェクトでも活躍する1児の母。

先輩職員メッセージ



調布市知的障害者援護施設
なごみ

(2020年度採用 福祉職)

なごみは知的障害の方の入所施設であり、ご利用者の生活の場です。日々の小さな変化に気づき、安心して暮らせる場を提供するために支援方法を模索することは難しいこともあります。 「おはようございます」から「おやすみなさい」まで1日の生活を職員がチームで見届けています。夜勤の場合は、勤務が16:30からなので、勤務前に昼寝をしたり、二度寝をしたりとゆったり過ごすことができます。夜勤明けは9:30に終了なので、その後は開店直後の買い物や、ゆったり遠出をする等して、自分の時間が作りやすいのも魅力です。

東京都出身。

なごみに臨時職員として勤務後、正規職員に。

国領小学童クラブ・あそびバでの経験を得て、現職へ。

特技はダンス。新婚1年目。自宅のアクアリウムを眺めるのが癒しの時間。

1日のながれ（夜勤の例）

- 16:30 出勤
- 17:45 夕食介助
- 20:30 入床準備
- 22:00 夜勤見回り・
夜間トイレ誘導
安全確認
- 6:30 早番への引継ぎ
利用者の起床・身支度
- 8:30 日勤職員へ引継ぎ
- 9:30 退勤

先輩職員メッセージ



調布市知的障害者援護施設
なごみ

(2023年度採用 看護職)

現在2児を育てながら、なごみに勤務しています。以前は病院に勤めていましたが、子育てとの両立が困難だったため、転職しました。産休、育休を頂き、現在は育短を利用して頂いています。職場の皆様方のサポートのおかげで、ワンオペでの育児でも、仕事と無理なく両立することができています。土日祝日がお休みのため、家族と予定をあわせて出かけることができるようになりました。当初は病院から施設へ転職することに不安がありましたが、家族との時間もとれるようになり、今では転職して良かったと思っています。

病院勤務から転職して事業団へ。
第二子出産後、育休を取得。現在は復帰し育短勤務中。
休みの日は子どもと公園へ行き、子どもに絵本を読んで
ゆったり過ごす時間が至福。

1日のながれ

(育短30分)

9:00 出勤
情報収集
往診がある際は準備/介助
昼の内服薬準備
フロアへの伝達文書作成

12:00 休憩

12:45 夕～朝分の内服薬準備
皮膚科等の処置
外回り業務

16:00 夕薬・就寝時薬・朝薬を
各フロアへ配達

16:45 退勤
(育短30分)

先輩職員メッセージ



調布市子ども発達センター
通園事業あゆみ 副園長
(2009年度採用 福祉職)

あゆみでは、専門的支援を必要とする3～5歳の子ども達の発達を“遊び”を通して、支援しています。
様々な年齢層の職員がいる職場なので、日頃から仕事や子育ての悩みを共有したり、アドバイスし合ったりしています。絵本の読み聞かせボランティアや研修への参加、家族旅行のためのお休み等、プライベートな活動への理解もあり、お互いにフォローしあいながらお休みを取り、日々「仕事」と「プライベート」どちらも大切にしながら過ごしています！

療育に興味を持ち転職で事業団へ。最近ハマっていることは本屋さんや図書館でお気に入りの絵本を探すこと。一度きりの人生、どうせなら楽しく過ごしたい！！と思っているので、いつも身のまわりにある「おもしろいこと」を探しながら過ごしています。

1日のながれ

- 8:30 出勤
- 9:30 園児登園
- 10:00 クラス療育
- 11:30 給食
- 12:30 午睡・自由遊び
- 14:00 帰りの会
- 14:30 バス添乗・フィードバック
- 15:45 全体振り返り
- 16:45 事務作業
- 17:15 退勤

先輩職員メッセージ



調布市立国領小学校
学童クラブ・あそびバ

(2022年度採用 福祉職)

学童クラブ・あそびバは、小学1～6年生までの子ども達が、放課後や土曜日等に、保護者に代わって安心して過ごせる場所を提供しています。安全安心に過ごせるよう声かけを行ったり、イベントも開催しながら“自立支援”を目標に子ども達と接するよう心がけています。

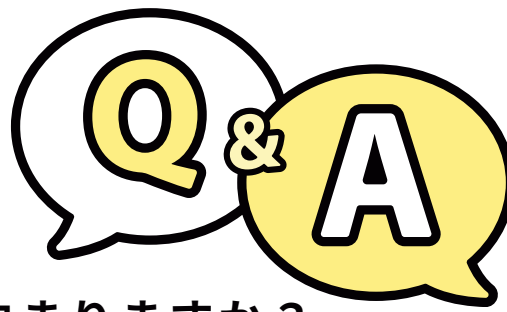
前職は自衛隊で、福祉の経験は全くありませんでしたが、上司や同僚に支えられながら日々仕事に励んでいます。スキルアップのために保育士試験の勉強にも取り組み、無事合格することができました。

プライベートでは子どもが生まれた際に育児を1ヶ月取得し、仕事と育児の両立もしやすいと感じています。

身長191cmの長身と趣味の筋トレで鍛えた筋力を活かし、
児童から大人気！
家では、離乳食が始まった我が子の食べっぷりが癒しのひとつ。

1日のながれ（遅番の例）

- 10:30 出勤
事務作業
おやつ買い出し等
- 13:00 職員ミーティング
児童の育成
- 15:30 おやつ提供
- 16:45 帰りの会
- 17:00 集団降室
パトロール
- 18:00 延長育成開始
- 19:00 育成終了
- 19:15 退勤



Q 配属先はどのように決まりますか？

A 配属先も人事異動も、本人の希望を考慮した上で職員の配置数やバランス、その方の持っている資質などを考え決定します。

Q 受験資格はありますか？

A 福祉関連の資格は必要条件とはしていませんが、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・公認心理師を取得している職員には資格手当を支給しています。必要な受験資格は「普通自動車免許（取得の意思がある方も可）」のみです。

Q 資格取得に対する支援はありますか？

A 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・公認心理師資格取得のための通信教育や講習会の費用への補助金があり、資格取得を目指す職員が多数います。

Q 福祉職に関する経験はありませんが、大丈夫でしょうか？

A 経験豊富な先輩職員がOJT担当として指導する体制があり、安心して勤務・相談ができる職場環境です。

Q 見学は可能ですか？

A 本部事務局若しくは見学希望の施設までご連絡下さい。調整のうえ実施させていただきます。

また、Zoomを使用したオンライン説明会も実施しております。
(開催の際には、ホームページに詳細を掲載いたします)

法人概要

法人名	社会福祉法人調布市社会福祉事業団
本部所在地	東京都調布市西町290-4
電話番号	042-481-7493
サイト	https://jigyodan-chofu.com
設立	1999年6月1日
理事長	伊藤栄敏

**社会福祉法人
調布市社会福祉事業団
2026(令和8)年度 採用案内**

2024.12月 第1版発行

2025. 1月 第2版発行

2025. 3月 第3版発行

発行者 広報委員会



ここで暮らしている
わたしも、あなたも

🔍 調布市社会福祉事業団

[サイト] <https://jigyodan-chofu.com/>

[電話] 042-481-7493（本部事務局）

＼HPはこちら／



＼応募フォームはこちら／

